



スクールリポート

▶ 学校教育課
☎23-3679

学校生活の
一コマを
紹介



「復活した米作り」 田植えでふるさと野田を満喫

野田小学校



●4Hクラブの方から稲苗を受け取る児童



●みんなで一列に並んで植えました

5月9日(水)に、ふるさと学習の一環として、4～6年生80名が田植えを行いました。地域の方に田んぼをお借りしての米作りは4年ぶりです。

まず、4Hクラブ(青年農業者団体)の方に、稲苗の持ち方や1回に植える本数、植える深さなどを詳しく教えていただきました。その後、小学校からほど近い田んぼに移動しました。到着後は、田んぼの隅から一列に並び、引いてある線を目印に田植えを始めました。初めは、田んぼに入るのを嫌がっている子や、足が泥に埋まりバランスを崩して思うように動けない子がたくさんいましたが、だんだんと慣れてきて、植え終わるころにはずいぶん手際よくなりました。泥んこになった子どもたちの顔には、笑顔があふれていました。

約800㎡の田んぼの稲苗は、本数も間隔もまちまちですが、すくすくと育っています。秋には稲刈りを予定しています。収穫後は餅つきもしようと考えています。



「中高一貫教育」 合同総合発表会及び中高一貫成果発表会

伊良湖岬中学校

本校は、平成31年度より福江中学校と統合します。

また、昨年度より福江中学校と同様に、福江高校との中高一貫教育のための交流活動をスタートさせています。2月19日(月)に、伊良湖岬中学校・福江中学校・福江高校の生徒が福江中学校の体育館に集まり、「福江中・岬中合同総合発表会及び中高一貫成果発表会」を行いました。

初めに、福江中学校1年生の代表生徒がパワーポイントを使って、「探そう！106の魅力」というテーマで渥美の魅力について発表を行いました。次に、本校の1・2年生の代表生徒が、校区の福祉施設を訪問して体験したり、学んだりしたことを13のブースに分かれ、ポスターセッション形式で発表を行いました。福江中の生徒や福江高校の代表生徒の皆さんも熱心に耳を傾けて聞いてくれました。積極的に質疑応答がされたブースもあり、交流が深まりました。最後に、福江高校代表生徒による中学校両校の発表への感想と中高一貫教育の内容についての発表がありました。高校生からのアドバイスは、中学生にとって魅力的なものであったと思います。

今年度は、12月17日(月)に伊良湖岬中学校の体育館で同様の発表会を予定しています。最後の1年となる伊良湖岬中学校をよろしくお祈りします。



●ポスターを使い発表をする生徒



●みんなで協力して発表しました